

アジア・アジアパラ競技大会に関する提言【概要版】

1 背景 現代社会が抱える様々な課題解決に向けて国際大会が果たす役割は大きい。

【社会が抱える課題】

- ・ 少子高齢化
- ・ 子どもの貧困
- ・ 多様性の尊重（障害、ジェンダー等）
- ・ 国家や民族間の紛争
- ・ 気候変動（地球温暖化）

【過去の国際イベントにおける成果と課題】

愛・地球博における成果

- ・ 持続可能な社会づくりに向けた取組の推進
- ・ 一市町村一国フレンドシップ事業を継承した草の根交流
- ・ ボランティアと市民参加の広がり

出典：（一財）地球産業文化研究所
「愛・地球博～理念の継承と展開～」

東京 2020 大会における成果と課題

< 成果 >

- ・ アスリートの活躍による感動
- ・ ユニバーサル社会の推進
- ・ 大学との連携の広がり

< 課題 >

- ・ 大会経費の肥大化
- ・ 汚職事件・談合事件
- ・ ジェンダー平等への体系的な取組の不十分さ

出典：大会公式報告書等

【大会に期待される役割】

- ・ 新たな時代の国際協調に貢献すること
- ・ D & I（多様性と包摂性）の推進
- ・ 国際スポーツイベントの事業モデルのイノベーション（持続可能な大会の推進）
- ・ スポーツにとどまらずアジア※と日本との一大交流に寄与
- ・ クリーンで公正な大会運営

※愛知県とアジアとの関わり（参考データ）

- ① 県内在住の在留人口…約 20 万人
- ② 県内在住の留学生数…約 5,000 人
- ③ 県内企業進出拠点数…約 2,800 件

出典：法務省「在留人口統計」、愛知県留学生交流推進協議会「留学生在籍一覧」、（公財）あいち産業振興機構「2022年における愛知県内企業の海外事業活動」
統計対象：OCA・APC 加盟 45 か国・地域（日本除く）

2 新たな理念の提示

愛知・名古屋大会に期待される役割を達成するために、大会を契機に地域が目指す**新たな理念**を提示する。

◎新たな理念に込めるメッセージ

- ・ 様々な社会課題を解決し、社会の変容につなげていくことで、子どもの未来につなげる
- ・ 子どもをキーワードにすることで、価値観、宗教、思想等の違いを乗り越える
- ・ スポーツを通じ、アジアの人々が理解し合うプラットフォームとして、地域全体を提供する
- ・ 県民・市民が積極的に参画することで自己実現を図っていくための大会とする
- ・ スポーツへの関心を高めることで、その楽しさを理解してもらうとともに、健康の保持増進や地域の連帯感醸成を推進し、社会課題の解決の一助とする

◎理念構築の方向性

- ・ シンプルかつ具体的
- ・ アジアの人々が共有できる
- ・ 解決すべき社会課題を表現
- ・ 大会の価値、意義を示す
- ・ 愛知・名古屋の目指すべき姿を示す

新たな理念

アジアの 子どもの 未来の ために
(A better future for Asia, a better world for Children)

新たな理念を活用した取組により、目的達成に向けた機運を高める

3 新たな理念の実現に向けて

新たな理念を実現していくために**基盤**と**3本の柱**を設定し、**レガシー**となる**具体的な施策**を展開する。

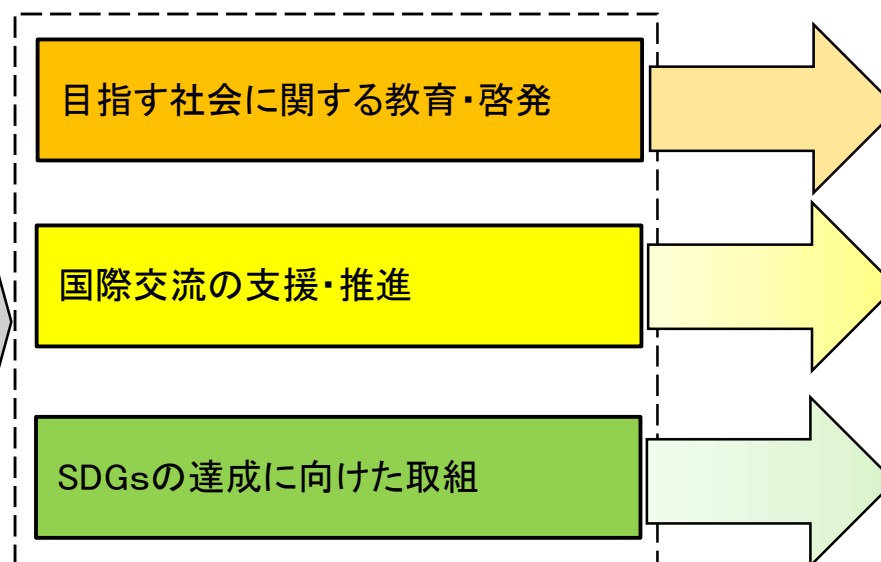
【3本の柱】

持続可能な社会	誰もが平和で豊かな生活を送れる、またそれを将来の世代にも継続できる社会を目指す
D & I	障害、性別、人種などを理由とした偏見や差別をなくすため、D & I を推進し、共生社会の実現を目指す
地域づくり	大会を契機とした交流・連携や、スポーツを通じたコミュニティ形成により、支え合う地域づくりを目指す

【基盤】

県民・市民の参画	ボランティアや様々な取組で県民・市民が大会に参画することが、理念を実現するための基盤となる
----------	---

【施策の方向性】



【施策の展開】

人や文化の多様性・相互理解を促進する教育（学校・地域）
パラスポーツ体験等による人間の可能性への理解促進
文化プログラムを活用したアジア間交流
市町村フレンドシップ事業、一校一国運動
理念を反映し、様々な社会課題の解決につながる大会運営
アクセシビリティ・ガイドライン等に沿った競技会場等の整備・改修
共生社会の実現に向けた取組
低炭素化・リサイクルを推進する取組